

## 募集要項

### 1. 目的

社会的課題に対し「少女と女性の視点」に立って、よりよい社会の構築に貢献すべく活動したプロジェクトを広く募集し、その取り組みを社会に発信するとともに、称える機会とする。

### 2. 主催

公益社団法人ガールスカウト日本連盟

### 3. 後援

文部科学省、環境省、外務省、内閣府

特定非営利活動法人 持続可能な開発のための教育推進会議（ESD-J）、  
ESD 活動支援センター

### 4. 応募期間

2021年4月1日～2022年3月31 日

### 5. 応募資格

- ・応募の時点（～2022年3月31日）で終了している取り組みであること
- ・応募者の年齢、性別は問いません
- ・個人、グループは問いません

### 6. 審査項目と評価視点

#### **審査項目 ア) 少女と女性の視点に立ったプロジェクトか**

- 4 点: 少女と女性の視点に立っている
- 3 点: 少女または女性の視点に立っている
- 2 点: 他者の視点に立っている
- 1 点: 自分だけの視点に立っている
- 0 点: 誰の視点にも立っていない

#### **審査項目 イ) プロジェクト実施者自身が、行動を起こしているか**

- 4 点: プロジェクト実施者自身が考え、自ら進んで行動を起こした
- 3 点: プロジェクト実施者自身がさまざまな活動をきっかけに、適切な行動を起こした
- 2 点: 受身ではあったが、プロジェクト実施者自身が行動を起こしていた
- 1 点: 立てられた計画のもと、プロジェクト実施者が行動していた
- 0 点: 行動を起こしていることが見受けられない

#### **審査項目 ウ) どのように取り組んだか（成果が得られるように取り組んだか）**

- 4 点: 数値目標を達成し、ゴールが達成できた
- 3 点: 数値目標のすべてを達成することはできなかったが、ゴールに近づいた
- 2 点: ほぼ数値目標は達成できたが、ゴールにはつながらなかった

1 点：立てた目標が達成できる取り組みではなかった

0 点：活動内容に再検討が必要である

**審査項目 Ⅰ) 活動したことによって少女と女性にとってよりよい社会になったか（コミュニティに変化をもたらすことができたか）**

4 点：ビジョンに近づき、少女と女性にとってよりよい社会となった

3 点：ビジョンにはまだ少し遠いが、少女と女性にとってよりよい社会へと一定の変化があった

2 点：少女と女性にとってよりよい社会に近づくために、課題（問題）を周囲に認識してもらうことができた

1 点：自分たちだけが変化した

0 点：何も変化をもたらさなかった

## 7. 応募方法

### ウェブから応募

入力内容： プロジェクトのビジョン、ゴール、数値目標と活動内容、活動のきっかけ、コミュニティに起こった変化、今後の展望 等

\*最後に「送信」をクリックすると、入力したメールアドレスに確認メールが届きます。

メールが届かない場合は、応募できていないかもしれませんので、お問い合わせください。

## 8. 審査員

一時審査員：

ガールスカウト日本連盟 47 都道府県連盟 連盟長最終審査員：

審査員長 橋本ヒロ子（学校法人十文字学園 十文字中学高等学校校長） 審査員 高木幹夫（日能研 代表）

ガールスカウト日本連盟役員および教育・指導者委員会委員長

## 9. 審査の流れ

一次審査（書類審査）：6 月

⇒ 最終審査（書類およびプレゼンテーション）：7 月

⇒ 受賞者発表：8 月

## 10.表彰式

2022 年 10 月（予定）

## 11.受賞特典

グランプリ：表彰状の授与、ゴールドピンの贈呈、賞金 10 万円

コミュニティアクション賞：表彰状の授与、シルバーピンの贈呈、賞金 5 万円チャレンジ賞：表彰状の授与、その他

日能研賞：表彰状の授与、その他他賞を検討中

## 12. 個人情報の取り扱いについて

- ・ 個人情報に対するアクセス・個人情報の紛失・改ざん・漏えいなどを防止するために、適切な安全対策を講じる。
  - ・ 本事業で入手した個人情報は、本事業の実施に必要な範囲でのみ使用する。
- » プライバシーポリシー